

平成 31 年度（2019 年度）

金沢大学大学院法務研究科

入学試験問題

小論文試験

D 日程入試

（注意）

1. 問題冊子（表紙を含む）は6枚です。
2. 問題冊子は指示があるまで開かないで下さい。
3. 問題冊子と下書き用紙は持ち帰って下さい。
4. 解答は、鉛筆、シャープペンシル、ペン、ボールペンのいずれで記入しても構いません。

平成 31 年度（2019 年度）金沢大学大学院法務研究科入学試験問題

試験科目	小 論 文
------	-------

出典：筒井淳也『結婚と家族のこれから 共働き社会の限界』

（光文社、2016年）83～96頁

なお、出題に際して、原文が縦書きのものを横書きにする、表題を省略するなど、原文の一部に改変を加えてある。

問1 （下線部2）でいうように、結婚や家族が「強く標準化」し、再び「多様化」しているのはなぜか。筆者の見解を500字以内でまとめなさい。

問2 （下線部1）でいうような「社会」を実現させるためには、何が必要か。（下線部3）の「3つの条件」の指す内容も参考にしながら、あなたの考えを500字程度で論じなさい。

（下線部1）83頁6～8行目

（下線部2）88頁5～6行目